

結(ゆい) 第 28 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL06-6974-0531 FAX06-6975-2181

E-mail info@kansaineji.com

URL <http://www.kansaineji.com>



新春互礼会・会場

平成27年度新春互礼会を開催

関西ねじ協同組合は「平成27年度新春互礼会」を1月13日、シティプラザ大阪（大阪市中区）にて開催した。正会員企業から83社120名、賛助会員企業から50社87名、来賓4団体から14名、事務局・報道関係から6名の合計140団体227名が出席し、盛大に新年の門出を祝った。



新年のご挨拶

関西ねじ協同組合

理事長 中 江 良 一
(紀州ファスナー工業(株))

昨年を振り返ってみますと政治・経済、産業界において円安、株高から始まり消費税の8%への増税の影響による需要の増減、年末の衆議院解散・選挙と何かと動きの多かった一年のように思われます。またここ5年を振り返ってみましてもリーマンショック、尖閣諸島問題、タイの洪水等の影響など激しくアップ&ダウンを繰り返しているように思います。このような激動の時代において我々ねじ産業に関わる者たちは経済の大波に飲み込まれることなく航海を続けなくてはなりません。各会社の船長の役割はたいへんな責務であり、某国の観光船の船長のように船を放り出すようであってはなりません。国内における競争に打ち勝つことも大切なことではありますが、当世は国際社会を見据えた舵取りをしなくてはならないので以前にも増して難しい時代にあり品質、コスト、サービス等たゆまない努力を積み重ねていく必要があります。

さて、当組合のほうですが13年目を終え14年目に、また私自身も理事長に就任いたしましておよそ1年目が終わろうとしています。この一年間は昨期立てた計画の実行年であり、新理事長として様子を見ている一年であったように思われます。理事の皆さんと各委員会の委員長・副委員長をはじめ各委員さんのがんばりのおかげで実りある1年目でありました。さてもうすぐ2年目になりますが、就任のご挨拶でもお話をさせていただきましたが、組合は組合員のためにあるのですから組合員の会社・社員の皆様に喜んでもらえる、また昨今の厳しい経済状況にあって継続して入会している価値のある組織でなければなりません。そのためには過去において長く素晴らしい企画・運営であっても、回数を重ねてまいりますと慣れやら飽きやらで陳腐化してくる企画もありますからいいものは継続し、さらに良いものに改善していかなければならないと思います。そしてこのような状況下でも退会する会社がなく、会員が増大しているような組合でなければなりません。そのためにも理事一同、知恵を出してまいります、組合員の皆様からも良いお知恵を拝借できればと存じますので、事務局、理事長・副理事長ならびに担当委員長、理事の方まで新会員のご紹介とご意見を賜わりましたら幸いです。

フォトフラッシュ



来賓祝辞
近畿経済産業局 森下課長



来賓祝辞
大阪府商工労働部 楠本参事



黄綬褒章受章で謝辞を述べる
下西 巖氏



乾杯の発声をする北井相談役



K 2 今年度メンバー



閉会の辞を述べる西副理事長

総 務 委 員 会

平成27年 新春互礼会の報告

委員長 松 田 洋 明
(株ヨット印・ダイワ)

平成 27 年 1 月 13 日、「シティプラザ大阪」にて新春互礼会が開催されました。関西ねじ協同組合理事長 中江良一氏の新年の挨拶で幕を開きました。中江理事長は「日頃の組合活動に対するご支援ご協力に感謝を申し上げ、今後いっそう魅力のある組合になる様、会員数の増大と皆様のご意見を理事会で積極的に推進したいと思っております。」と挨拶されました。

続いて来賓の紹介があり、近畿経済産業局 製造産業課 森下剛志課長、大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課 楠本忠範参事の両名よりご祝辞をいただきました。

次に慶事のお祝いとして、このたび黄綬褒章を受章された株式会社下西製作所 下西巖氏へ記念品が中江理事長より贈られました。下西氏より受章の経緯や感想を交えてご挨拶をいただきました。

乾杯は関西ねじ協同組合の相談役であるケーエム精工株式会社 北井正次氏のご発声で懇親会が盛大に始まりました。例年になく活発な情報交換が会場せましとおこなわれました。

宴の半ばでは、関西ねじ協同組合の若手経営者で組織するK-2の幹事が紹介され代表幹事の大洋ナット工業株式会社 池田夏来氏が今年の活動計画など抱負を述べられました。

余興として吉本興業のMr. マサヒロによるマジックショーが懇親会を楽しく演出しました。

宴もたけなわのころ、関西ねじ協同組合副理事長 西精工株式会社 西泰宏氏の中締めの挨拶で無事に散会となりました。

新春互礼会参加者は以下の通りです。

関西ねじ・正会員	83社	120名
関西ねじ・賛助会員	50社	87名
ご来賓・ご招待者	5団体	6名
報道		8名
合計		226名

ご参加の皆様に心より感謝申し上げます。

人材開発委員会

今年度の事業内容について

委員長 由良 宜彦
(嘉 亀 鋼 業 株)

日頃は人材開発委員会の活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度の活動についてご報告申し上げます。

7月25日にマイドーム大阪にて「経営に活かす決算書の見方・考え方～財務分析編～」と題する講演会を実施致しました。岩垣忠裕氏（岩垣会計事務所 税理士・中小企業診断士）を講師としてお招きし、現状分析のツールである財務分析の仕方、財務指標の内容と目指すべき目標値など、具体的な数値を盛り込みながら、受講者はワークシートの設問に答える形式で学びました。講演会の後には、マイドーム大阪内レストランにて懇親会を実施致しました。

2月16日には、シティプラザ大阪にて、「マイナンバー制度と労働関係助成金」と題した講演会を開催致しました。午前中は、来年から本格的にスタートするマイナンバー制度の概要について税理士法人コモンズ代表の坂本幹雄先生にご講演頂きました。

マイナンバー制度は、国民一人ひとりに12桁の番号が通知されるものですが、今年の10月には通知カードが郵送されてきます。各企業様での取り扱いの注意点などを詳しくご説明頂きました。

昼食を挟んで午後からは労働関係の補助金について、福西社会保険労務士事務所代表の福西綾美様にご講演頂きました。こちらは労働関係の補助金には現在どのような物があるかという紹介をして頂きました。製造業にとって関心の高い、物作り補助金などについてもご説明頂きました。

2月24日には、工場見学会としてファナック株式会社様 名古屋支社と、CKD株式会社様 本社工場を見学致しました。当日は貸切バスにて難波・京都駅に集合、午前中にファナック株を見学させて頂いた後、昼食を取り、午後からCKD株を見学しました。

ファナック株では各産業の製造ラインで稼動しているアーム型ロボットのデモを見せて頂きました。CKD株では、実際に機械を組んでいる現場と機械デモを実施して頂きました。どちらも世界的に活躍されている企業様であり、大変貴重な体験が出来ました。

我々、人材開発委員会ではこれからも会員の皆様のお役に立つような事業を実施して参ります。今後とも宜しくお願い致します



ファナックを見学



CKDを見学



講演会を聴く

海外情報委員会

台湾視察報告

委員長 柳 原 考 至
(ロックファスナー㈱)

平素より組合員ならびに賛助会会員の皆様には、当委員会活動に格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。

今年度の海外情報委員会行事として、3月5日～7日の2泊3日（3泊4日もあり）で台湾の高雄と台北に総勢17名で行ってまいりました。

3/5に関西国際空港から、最初の訪問地である高雄に到着いたしました。出発日の大阪ではまだかなり寒く、ダウンジャケットが必要なぐらいでしたが、高雄では街中で半袖の人を目にするぐらいに、南国の暖かい気候でした。到着後、ホテルにチェックインし、その後に市内レストランにて台湾風海鮮料理をいただきました。

翌3/6の午前中に、高雄郊外のチャイナスチール[中鋼公司]を視察させていただきました。同社は1971年に創業し、高雄に4基と台中[ドラゴンスチール]に2基の高炉を保有しております。当日見学させていただいたのは、2013年に完成した線材第二工場でした。線材第1工場はφ5.5mm以下、第2工場はφ5.5～20mmまでを主に生産しているそうです。年間生産量は棒・線材で200万トン。内訳は棒鋼65万トン、線材135万トンです。その内で線材は、第1工場が30%を占めているとの事でした。

見学した線材第2工場は、圧延加工を繰り返し、指定サイズの線径に仕上げていました。全長590mの生産ラインの最終工程での冷却工程は、第1工場の約2.5倍で100m超えの搬送システム（スチルモアプロセス）を使用していました。線材を梱包後は、傷防止機構搭載の連結立体倉庫に収納し、コンピュータ管理をされているとの事でした。



チャイナスチールでの一行



チャイナスチールで説明を受ける

午後からの視察先であるウォルシン[華新麗華股份有限公司]では、1994年に特殊鋼（ステンレス材）の生産を開始し、現在では、電線、エネルギー、不動産の4つの事業を、台湾と中国で展開しているそうです。又、ウォルシングループの合計生産量は年間42万トン～45万トンとの説明をいただきました。工場内では溶解炉、延伸、再加熱、酸洗・被膜、冷却、巻取などの工程を見学し、視察後に嘉義駅より台北へと台湾新幹線に向かい、台北101ビルのスカイレストラン欣葉で、少し遅い夕食をいただきました。

翌日の3/7はバスで、十份に向かい、十份駅近くの線路の上で、観光名物であるランタンを上げました。皆さん思い思いの願い事をランタンに記入されていました。その後、宮崎駿監督が映画「千と千尋の神隠し」の着想を得たという噂の九份を観光させていただきました。観光後、台北市内に戻り、この日の昼食場所である鼎泰豊(本店)で、飲茶をいただいたのですが、到着時に店の前50～60人の人だかりがあり、同店の人気の高さを垣間見ました。同店は大阪では難波の高島屋にも系列店が出ていますので、飲茶好きな組合員の方は、是非訪れてみてください。

同店での昼食後に、定番の土産物屋に立ち寄り、台北空港へと向かい、3泊4日組を残し、お先に無事帰国いたしました。今回の旅行は概ね参加者の皆様が満足して頂けたようなので、特にこれといった反省点はありません。

当委員会の今後の活動としては、近日中に委員会を開催して来年度の視察先の検討を始めたいと思っております。



ウォルシンでの一行



ウォルシンで説明を受ける

会 員 交 流 委 員 会

第23回 親睦ゴルフコンペを開催

委員長 今 井 敏 雄
(株丸菱ナット製作所)

平成26年11月8日(土)に第23回のゴルフコンペを春日台カントリークラブにて開催致しました。

秋季コンペは土曜日開催ということで、平日は参加しづらいと言われる若手会員の方にも参加して頂き、予定通りの8組32名でのコンペ開催となりました。

今回は、今まで避けていた27ホールコースでの開催となり、アウト・イン同コースでのプレーが不可能な為、ベストグロス賞を二つ用意致しました。結果、名古屋から参加頂いた(有)中西精密エンジニアの中西氏が75、マコト産業(株)の池田氏が80の好スコアをマークされました。

なお、コンペの結果は優勝が(株)富士製作所の木村氏、準優勝が太平鋳螺(株)の平石氏であり、ベストグロの御両人は池田氏がダブルペリアのハンデが6.0で惜しくも4位、中西氏にいたってはハンデがプラス1.2の12位と言う厳しい結果となってしまいました。

今回は平成27年3月26日(木)にゴルフクラブ四条畷での開催を予定しております。

また当委員会の囲碁クラブも、植木さと子七段をお招きして毎月の定例会と年二回の懇親旅行を開催しております。ゴルフコンペと合わせて、こちらも皆様の御参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

第23回 親睦ゴルフコンペ成績

優勝 木村 文雄	17位 榎本 隆之
準優勝 平石正一郎	18位 松元 収
3位 江本 清吉	19位 中江 良一
4位 池田 栄治	20位 田島 祥一
5位 山川 佳秀	21位 辻田 稔
6位 西居 厚	22位 六車 拓哉
7位 上田 健	23位 北 喜次
8位 今井 敏雄	24位 橋本 栄吉
9位 榎本 宏志	25位 大住 貴子
10位 沼田 敏彦	26位 中谷 格
11位 一居 洋子	27位 木田能風子
12位 中西 輝幸	28位 小林 永典
13位 箕村 理	29位 松本 典丈
14位 北角 尚弘	30位 柳原 考至
15位 石田 佳史	31位 神山 裕義
16位 戸田 高司	32位 当銘 由一



クラブハウス前での参加者

福 利 厚 生 委 員 会

(伊賀・信楽)松茸・近江牛食べ放題

委員長 夏 原 和 哉
(榊 ナ ツ ハ ラ)

組合員・賛助会員企業の従業員、そのご家族の方々を対象にした日帰りグルメツアーを平成 26 年 11 月 23 日(日)に実施致しました。

今回は、前回大変人気のあった、伊賀・信楽の魚松本店で「松茸・近江牛食べ放題」を企業様 37 社、172 名で行いました。ありがたいことに毎回このグルメツアーはたくさんの企業様から応募があります。しかし参加人数に限りがございますので、泣く泣く数社の企業様に御辞退頂いておりました。そこで、今年度は定員 120 名から 160 名へと増数致しまして、応募を掛けさせて頂きました。しかしなんと 190 名を超える応募があり、またしても数社の組合員さんに御辞退して頂く結果となりました。この場をお借りして、参加できなかった皆様に深くお詫びを申し上げます。

当日は晴天に恵まれ、午前 8 時 30 分に全員元気よく、近鉄上本町駅から、バス 4 台で出発致しました。11 月 23 日という絶好の行楽日ということもあり、交通渋滞を鑑み、大津サービスエリアの休憩後、すぐに魚松本店に向かいました。11 時 30 分ごろから。当委員会の挨拶もほどほどに「暴れ食い」開始、「近江牛」を山盛りお鍋に入れられ、その上からこれまた「これでもか」というぐらいの「マツタケ」を盛られたすき焼きのスタートです。「近江牛」「マツタケ」が鍋の中で寂しくなったら、追加し放題。すき焼きとは別に「食べ放題の松茸ご飯」、「松茸の土瓶蒸し」、「デザート」とありましたが、そこまで完食できた人はごくまれではなかったかと思います。本当に、魚松さんが宣伝されていた「一生分のマツタケ」を堪能でき、参加者の方々もたいへん満足頂けたものと思います。

お腹も一杯になって魚松さんをあとにし、竜王にある、三井アウトレットパークへ。

そこでは、ブランド品のアウトレットや、滋賀の名産品が販売されており、「エッ？」と思うぐらいにショッピングされたツワモノもおられました。かく言う私もブランド物のシャツをコソッと買ってしまいました。

そして、帰路中、その車内でもビンゴゲームでお土産をゲットして頂きました。

17 時 45 分ごろに無事上本町駅前に到着し、楽しい「グルメツアー」を終えることができました。

最後になりましたが、これからもたくさんの組合員様に喜んで頂ける「グルメ旅行」を企画していきますのでご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

研究開発委員会

事業報告

委員長 豊田 裕司
(株式会社 豊田製作所)

当委員会では主に以下の2つのグループでの活動を実施しております。

- ① 次期テーマ検討グループ：平成26年3月、5月、7月、9月に技術系の講師を中心に
お招きし、技術講演会を実施してまいりました。話題は研究機関の紹介、新素材の紹介、
ねじの標準化の動向、女性の活躍、ねじの発明、ねじの事故例などであり、たくさんの組
合員の方々に聴講いただきました。今後もこれまでと同じテーマで異なる技術を紹介しな
がら、品質管理、生産効率化、職業訓練、海外進出などの話題提供も企画中です。
このような企画を実施しながら、当組合員が共同で研究できるテーマを模索してゆきます。
- ② FCK法の普及：国内外の腐食に関する会議でFCK法の紹介をいたしております。一
方で、ISO規格へFCK法を上程できないかとその方法などを調査中です。

福利厚生

グルメツアー



挨拶する夏原委員長



食事会場の様子

ねじづくりサポート会

第10回 情報交換&懇親パーティ

会 長 森 嶋 勲
(理 化 工 業 株)

去る12月10日、年末恒例の『情報交換&懇親パーティ』をリーガロイヤルホテル大阪にて、正会員企業55社、103名様をお招きし、総勢85社、172名で盛大に開催することができました。中江理事長を始め、ご参加、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

この会は、社長様だけではなく、むしろ技術や製造、営業など、実務担当の皆様方にご参加いただき、日頃は顔を知らない方々とのFace to Faceでの交流を大きな目的としています。インターネットなどのデジタル情報では分からないアナログ情報がここにはあります。

また、賛助会員が集うここは、まさしく『ねじ業界の中の異業種交流会!』いろいろな業種、業界の情報が飛び交っています。そこから、どのような化学反応が起こるか?面白い現象がすぐに起こればこれ以上のことはありませんが、例えすぐには起こらなかったとしても、10年後に「あの時の名刺交換がきっかけで・・・」と言えるような出会いの場になれば、これまた嬉しい限りです。そして、これらの活動が、ねじ業界の発展につながればと願っています。

そのための作戦として、今回は小さな展示台を設けて、より分かりやすい情報交換の場を目指しました。しかし、一方ではゆっくりご歓談いただく時間が短くなってしまったようで、まだまだ改善の余地ありと反省です。また、胸に付けていた名札の文字が、実は昨年より大きくなっていたことにお気づきいただけましたでしょうか。

このようないろいろと小細工をしながら、少しでも実りある場になればとねじづくりサポート会員一同頑張っています。また、皆様方からのご意見をいただければ幸いです。来年も更に交流が深まるパーティにすべく頑張ってまいりますので、まだご参加いただけない皆様、来年こそは是非ご参加を!

余談ですが、忙しい中このような企画を考えたり、酒を酌み交わしたりしながら情報交換や親睦を楽しんでいる我々ねじサポ会員が、一番の役得なのかもしれません。まだねじサポ会に入っておられない賛助会員の皆さん!お待ちしております。



挨拶する森嶋会長



カタログコーナーも設置



懇親会場

「K2」と「OS会」の合同研修会



トヨタ 堤工場を見学



トヨタ テクノミュージアム

K-2(関西ねじ協同組合2世会)

活動報告について

代表幹事 池 田 夏 来
(大洋ナット工業㈱)

平素は二世会K-2の活動に関西ねじ協同組合の皆様より多大なるご支援ご理解をいただきまして誠にありがとうございます。 会活動についてのご報告させていただきます。

1 勉強会① H26.7.4

シティープラザ大阪にて㈱カワイコーポレーションの河合徳治氏をお迎えして後継者のあり方について、冗談も交えたとても分かりやすい講演を、実体験に基づいてお話していただきました。 講演後は講師先生も交えて同ホテルにて懇親会を開催いたしました。

2 2会合同研修会 H26.10.3~4

OS会様と共に初日は、トヨタ自動車株式会社さま工場見学の後、岐阜グランドホテルにて、懇親会を行いました。2日目はゴルフ組と観光組に分かれての岐阜稲口ゴルフクラブでのプレー、リニア・鉄道館見学→熱田神宮参拝→トヨタテクノミュージアム見学の後、合流し帰阪いたしました。過去最大人数での研修会となり、とても有意義な交流を行うことが出来ました。

3 忘年会 H26.11.28

梅田スカイビル39F 中国料理 燦宮にて忘年会を行いました。9割以上の会員様に参加していただき綺麗な夜景を眺めながら、食事券などの当たるくじ引きなど行い大変盛り上がった忘年会でした。

4 勉強会② H27.2.20

我々業界に無くてはならない鉄の構造について再確認する勉強会を行いました。勉強会の後の懇親会にも講演いただいた先生にも参加いただき裏話などお聞きして有意義な時間を過ごすことができました。

5 旅行会 H27.3.12~14

K-2では久しぶりの海外での2泊3日台湾視察旅行を行いました。春日機械工業股份有限公司さま 華新麗華股份有限公司さまの工場見学を行いました。又春日機械 孫理事長のご好意により、当初予定に無かった朝友工業股份有限公司さまの工場見学させて頂き台湾での材料、機械、製造とすべての工程を見学することが出来ました。

6 通年勉強会

今までとは違う試みとしてひとつのテーマ『メンタルヘルス』を計6回に分けて学ぶ機会を設けさせていただきました。どのような環境下であっても、ストレスとは人生のスパイスと考え、どのように受け止め、どのように対処していくのかを一年をとして勉強しております。

7 総会

4月10日に予定しております。今年度K-2は11年目を新たなスタートと考え色々企画運営してまいりました。これからも永きに渡り運営していけますよう、皆様のご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

営業政策プロジェクト

プロジェクト長 西 川 倫 史
(日 本 鋌 螺 榑)

前プロジェクト長の後藤氏が立ち上げ、長年にわたり生産数量調査をおこなってきました。この調査の目的は、関西ねじ協同組合に加盟している企業が産業全体に占める割合を明確し、関西における関西ねじ協同組合の発言力、地位向上をめざすものです。現状では、母集団に対しデータ数が少ないため、しっかりと活用できていませんが、今後はデータ提出にご協力いただけるようデータの収集方法等を再検討し活用できるデータづくりを行ってまいります。

また今後は、生産数量以外のカテゴリーで会員各企業がおかれている現状についてアンケート等をお願いし、なにか各会社での営業政策に役立てるデータを作成できるように考えております。「他の会員企業がどうしているか知りたい」などご要望がありましたら事務局までご連絡いただけると助かります。

ボルト分科会

プロジェクト長 西 川 倫 史
(日 本 鋌 螺 榑)

一昨年からはじまりました分科会活動のひとつです。これまでは規格に関する話し合いの場がなく、個別に話をする必要がありましたが、ボルト分科会が発足したことで意見の集約が迅速にできるようになりました。昨年はJIS附属書の存続および本体規格への移行推進決定を受けて六角ボルトメーカーが参集し意見交換および意志の統一をはかりました。

現在、日本でJIS規格の六角ボルトを製造しているメーカーのほとんどが関西地区にあります。関西のボルトメーカーが連携、協力していき、入数、規格など「製造の共通した土台」を関西ねじ発信でつくっていきたいと思います。

ドリルねじ分科会(日本ドリルねじ協議会)

体制と事業内容について

会 長 大 場 康 弘
(株 コ ク ブ)

当分科会は、関西を中心としたドリルねじメーカーの集まりで平成5年7月に発足し、正会員のドリルねじメーカー12社と賛助会員の13社で構成されています。当分科会は、幹事会や定例会を主体にその下部組織として技術委員会があり、情報・意見交換やマーケットの情報入手・分析そして、規格の制定や改正等に取り組んでいます。

今後とも皆様のご協力をいただき業界発展に努めて参りたいと思いますので、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

体 制

会 長	大場 康弘	(株)コクブ
副 会 長	北井 啓之	(ケーエム精工(株))
総務担当幹事	土肥 智雄	(日本パワーファスニング(株))
技術担当幹事	平田 政弘	(平田ネジ(株))
会計担当幹事	新城 公生	(株)九飛勢螺
事務局長	上岡 優	(日本パワーファスニング(株))

活動内容

平成26年 1月	新年会
平成26年 4月	幹事会
平成26年 7月	第21期 定例総会
平成26年10月	工場見学会(日産自動車、ミットヨ、キーテック)
平成26年3、5、6、9、10月	定例会
平成26年 2、4、6、8、10、12月	技術委員会
平成26年7、10、12月	J I S の改正委員会参加
平成26年 4、10月	ゴルフ懇親会

日本ドリルねじ協議会・工場見学会 (2014年10月14日・15日)



日産自動車・横浜工場



日産自動車・横浜工場



日産自動車・横浜工場



組 合 員 企 業 紹 介

竹 中 製 作 所

テレビ等でよく取り上げられ、ねじ業界以外にも、よく名前を知られている企業に㈱竹中製作所がある。わが業界の重鎮でもあるので、かねてより取材の機会を窺っていましたが、今回ようやく取材をできる運びとなった。

竹中製作所は昭和10年に竹中昇氏によって創業を開始した。戦前・戦中・戦後と日本の産業の発達と共に、激動の中にも、比較的順調な拡大発展を遂げてきた。しかし、昭和の末期に起きた第2次石油ショックによる不況と、当時の社長の急逝により事態は一変する。

その後のトップを受け継いだ竹中弘忠氏（現会長）は、製造業の常識とされた方針を大転換する。スケールメリットを追及することを止め、技術・品質に特化した高付加価値経営により、独自製品・差別化製品で構成されている。又、本業であるボルト製造に加え多角化経営を実施し、現在の表面処理、電子機器の分野への進出を果たした。

その結果タケコート1000という塩水噴霧試験6,000時間以上の驚異的な防食効果のある表面処理に加え、耐熱用タケコートセラミック、世界で初めてカーボンナノチューブを製品化したナノテクトを開発した、又、アメリカの原子力用ボルトナットのQSC（品質システム証明書）を取得し、現在もボルトメーカーで是を保持し続けているのは、世界でも竹中製作所1社だけである。加えて全くボルトとは異業種である電子機器事業部門も有しており、画像・IH・モーター制御等、特色のある開発・製造を手がけている。

そして日本市場が人口減少とともに縮みゆく中、将来を見据え海外進出にも積極的に取り組んでいる。ボルトの製造は需要地にないと幾ら良い製品でも納期と価格で負けてしまうので、工場進出にも前向きだ。

工場見学をさせて貰ったが、製造設備が充実していることは当然のことながら、試験・検査用設備が充実していることには驚いた。工業奨励館にも無いような設備まで設置されていた。お客様のニーズに素早く応えられる様にと、ほとんどの特殊鋼の品揃えはもちろん、希少材料のものまで在庫していると説明を受けた。

昨年の春の叙勲において、会長は旭日中授章を受章されたことは周知のことである。現社長は、行俊明紀氏が陣頭指揮を執っておられるが、会長の檄は今も飛んでいる。“オンリーワンを目指せ！ものづくり企業は経常利益率15%を目指さないと存在価値がない！”と。

（中谷 格、記）

伊 藤 戸 車 製 作 所

北新地にも至近な大阪市旭区生江1丁目に株式会社伊藤戸車製作所の伊藤竜介社長をお訪ねしました。付近は住宅地で工場があるようには考えられない所ですが、その一角でワッシャーを製造されています。その創業は古く、大正14年に現社長のお爺様が現在地で戸車の製造を開始されたそうです。回りの住宅の方が後だったのでしょうね。

そして終戦後の昭和23年、株式会社伊藤戸車製作所に改組され、色々な戸車の製造をされていたそうです。その後戸車に使用するワッシャーを社内で製造されたことをきっかけに、平ワッシャーの製造を昭和36年に開始されました。

昭和45年、日本国内ではまだ座金組込ねじが珍しいところに、いち早く組込用平ワッシャーの製造を開始されています。この頃に戸車の製造を止めて平ワッシャーに製造を集約されたそうです。昭和61年には工場を改築され生産の合理化を、その後隣接地を購入されたりと順調に発展されてきました。

そして1年半前の平成25年8月に伊藤竜介氏が三代目社長に就任されました。工場の中は整然と多数のプレス機が並び、整理整頓が行届き、従業員の方も若く、きびきびとした動作で作業されていました。鉄、ステンレス、チタン等、色々な鋼種、異なる板厚のミルシート付き日本製素材だけを70～80トン在庫されています。またワッシャーの金型も5000種類以上在庫され、どの様なワッシャーでも即納できるそうです。製造サイズはM1～M16、板厚は0.1mm～4.0mmまで、また平ワッシャーだけではなく特殊なプレス部品、そして樹脂のプレス部品も製造されています。

その上普通即納と言えば在庫からですが、同社の即納とは無からの即納で、条件が整えば受注から製造、出荷を24時間以内に出来るそうです。この様に話される、明るく、元気一杯の伊藤社長に将来の夢をお尋ねすると「品質、納期、価格で海外製品に負けない会社になること」と即答いただきました。余談ですが繁華街が近くて良いですねと問いかけると、「仕事一筋ですから」とのことでした。

若く仕事熱心な社長と巧みの技を持つ社員の方々が一丸となられ、「海外製品に負けない会社」になれるものと確信致します。本日は長い間取材にご協力をいただき、ありがとうございました。

(辻田 稔、記)

株式会社竹中製作所



竹中会長(右)と行俊社長(左)



本社屋・工場

株式会社伊藤戸車製作所



伊藤社長



本社屋

行事経過及び予定一覧表

月	日 付	内 容	主 催
12	6 日	玉掛け技能講習 (12月6日・13日14日)	人 材 開 発 委 員 会
	10 日	ねじづくりサポート会親睦情報交換会	ね じ サ ポ 会
	19 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
1	13 日	新年互礼会 (シティプラザ大阪)	総務委員会・三役会
2	16 日	管理者向け研修会 (シティプラザ大阪)	人 材 開 発 委 員 会
	19 日	第 78 回理事会	総 務 委 員 会
	24 日	工場見学会 (愛知県小牧市ファナック及びCKD)	人 材 開 発 委 員 会
	24 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
	27 日	ナット分科会及び自動車部品分科会会合	ナ ッ ト 分 科 会 他
3	3 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
	5 日	海外研修 (台湾高雄・台北3/5～3/7) (3/5～3/8)	海 外 情 報 委 員 会
	26 日	第 24 回親睦ゴルフコンペ (四條畷ゴルフカントリー)	会 員 交 流 委 員 会
4	23 日	第 79 回理事会	総 務 委 員 会
	28 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
5	12 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
	27 日	第 13 回関西ねじ協同組合総会 (ロイヤルホテル)	総 務 委 員 会
6	2 日	ドリルネジ分科会会合	ドリルネジ分科会
	21 日	第 13 回親睦ボウリング大会 (桜橋ボウル)	福 利 厚 生 委 員 会
	23 日	第 80 回理事会	総 務 委 員 会

※ 2 月末現在の事業予定です。

事務局より

代表者変更

株式会社ロックファスナー

平成 26 年 9 月、相談役に柳原 三郎氏が、代表取締役役に柳原 考至氏が就任されました。

嘉亀鋼業株式会社

平成 26 年 10 月、代表取締役会長に由良 豊一氏が、代表取締役社長に由良 宜彦氏が就任されました。

ニッコーボルト工業株式会社

平成 26 年 12 月、代表取締役社長の川浦 孝司氏が、死去の為、代表取締役社長に勝 訓男氏が就任されました。

住所変更

平成 26 年 10 月、日鉄住金精鋼株式会社は本社機能を堺市堺区熊野町西に移転されました。